

## 記録を伝える長野市公文書館の開館

野田 寿一  
長野市公文書館

歴史的に重要な公文書などを保存利用する、言わば記録を伝える施設として、長野市公文書館が平成19年11月20日、長野市城山（じょうやま）分室内に開館した。全国では51番目、長野県では長野県立歴史館、松本市文書館に次いで3番目の公文書館である。

### 1. 市誌編さんから公文書館へ

当館の母体となったのは、市制施行100周年記念事業の一環で平成3年度から始まった長野市誌編さん事業である。長野市の自然環境、歴史的発展過程、民俗などを総合的にまとめた長野市誌の編さんは、平成4年度に企画調整部企画課に市誌編さん室を設置して作業体制を本格化し、市制100周年記念式典が開催された平成9年10月に初刊の4巻を刊行した。以後、全16巻を刊行して、平成16年度に市誌編さん事業は完了した。市誌編さん事業では「歴史資料を調査収集し市誌の編さんに生かすと共に、永く後世に伝えること」を目的の一つに掲げ、公文書、古文書、古文書の複製、図書などを大量に収集した。この貴重な資料の保存場所を確保する必要もあって、平成11年3月末日、市誌編さん室は長野市城山分室に移転し、現在に至っている。

市誌の刊行が始まると、編さん資料の保存活用について市議会で質問されるようになり、平成13年6月に市民代表、学識経験者計7名で構成された長野市展示公開施設整備検討委員会を設置して、市誌編さん室、市立博物館、埋蔵文化財センター、真田宝物館に蓄積された文化財に関して展示公開施設整備を総合的に進める上での基本方針を検討することになった。平成14年度からは教育委員会

文化課が市誌編さん事業を所管するようになり、平成15年3月24日に展示公開施設整備検討委員会から「展示公開施設の整備報告書」が提出された。報告書では「公文書館の整備」が提示され、公文書館法の趣旨を生かし、「市誌編さん資料の継承と活用」「文書管理システムとの連動」「歴史資料として重要な公文書の保存と利用を進めること」とされた。市はこれを受けて、議会や市民の指摘・要望に応えるために公文書館を設立することとし、平成17年4月に市誌編さん室を引き継いで、市の文書管理を所管する総務部庶務課に公文書館準備担当を置き、公文書館設立準備を行うことになった。公文書館開館の状況を項目ごとに紹介したい。

### 2. 公文書館の在り方・条例等の制定

公文書館の在り方について意見を聴くため、学識経験者、行政経験者、民間諸団体の代表者、公募委員の計10名で組織された「長野市公文書館準備委員会」を平成18年5月に設置した。委員会は会議を5回開催し、平成18年11月30日に公文書館の理念、業務、運営、名称、施設についてまとめた提言書を市長に提出した。この提言書を受けて市は公文書館の設置条例、施行規則を制定し、名称は公文書館法により設置することから、開館準備に用いてきた「長野市公文書館」とし、休館日については、市民が利用しやすいように、平日は休まず日曜日にも開館することにした。

### 3. 公文書館の施設

公文書館が入る長野市城山分室は、NHK長野放送局の移転に伴い、市が建物を入手して庁舎の一つとしたもので、市役所本庁舎から約1.5キロ

離れた城山公園の一角にある。城山公園は善光寺に隣接し、信濃美術館、動物園、少年科学センターなどがある公園である。ちなみに、明治30年4月の当市の誕生時には、公園に隣接する長野（現城山）小学校に庁舎が置かれた。城山分室には、公文書館のほか、長野広域連合、長野地区農業共済事務局、教育相談センターなどの機関が入っている。市誌編さん室を公文書館にするためには閲覧室を設ける必要があり、書架やロッカーの配置換えをして、閲覧テーブル、受付テーブルなどを入れ、定員12名の閲覧室とした。閲覧室から離れて1階の北側と中2階に閉架書庫がある。元々がスタジオや放送機器が置かれた部屋であるため窓が無く、温度変化の少ない蔵のような部屋であり、市誌編さん室の頃から書庫として書架を徐々に設置してきている。城山分室の建物自体も、放送局の鉄塔を乗せているだけに柱が太く頑丈な造りになっている。

#### 4. 資料の収集・整理

市誌の編さんにあたり当市の歴史的文書を探したが、昭和40年の庁舎移転の際に処分されてしまったため、市役所本庁の文書は第二次大戦以前の文書が皆無に等しい状況であった。幸い、昭和29年・昭和41年などに合併した旧役場の文書が当市の支所に残されていて、明治から戦後にかけての貴重な文書、約1万点を収集することができた。旧役場文書は、市誌編さん室の当時から1点ごとに表題・資料番号を付けた中性紙の収納箱を手作りする方法で整理している。古文書は保存袋に入れて保存箱に納める方法で整理している。古文書の複製資料は、松代真田家文書などをマイクロフィルム写真で撮影して印画紙に焼き付けたもので、これを閲覧に供するためにファイルに綴って整理している。市役所文書の収集は、最初は廃棄間際の山積みされた箱の中からの収集であったが、庶務課の書庫内で当該年度末に保存期限となる全ての文書を公文書館職員が見て、歴史資料として重要な文書に目印のシールを貼り、これを4月の文書

廃棄作業期間に各文書作成課が公文書館へ送付する方法で市誌編さん事業の終わり頃から毎年収集している。市役所文書は作成年代が新しいため、保存箱を作らないで文書綴の形態で保存している。公文書館の開館に向けた資料整理では、収蔵資料をひと通り点検して資料名などの誤りを訂正する作業を行なうと共に、市誌編さん用目録の様式を変更して、閲覧申込書に記入する資料番号と資料名がひと目で分かるように、種別・大・中・小区分の4マスの資料番号と資料名を一箇所にまとめた公文書館利用者用の資料目録を作成した。

#### 5. 公文書館の紹介

庁内各課の文書取扱責任者等を対象にして平成19年1月19日に「公文書館制度研修会」を開催し、国立公文書館公文書専門官梅原康嗣氏の「わが国の公文書館制度の現状と長野市公文書館への期待」と題する講演に118人が耳を傾けた。研修会と共に、公文書館制度を紹介するため、庁内LANに開館予告便り「公文書館プレビュー」の掲載を開始し、開館までに計6号を発行した。市民に向けては、ホームページ、パンフレット、ポスター、広報などで「記録を伝える」長野市公文書館を紹介した。

#### 6. 開館行事

当市は市制110周年記念事業を実施し、平成19年10月に市制110周年記念式典を開催した。公文書館の開館記念行事も市制110周年記念事業の一つとして実施し、多くの市民に公文書館にご来館いただくため、城山分室の共用の大会議室を会場にして、平成19年11月20日の開館日に開館記念式典と開館記念講演会を開催した。開館式の最後に、閲覧室の入口で公文書館の表示板の除幕を行い、公文書館開館のときを迎えた。続いて、国文学研究資料館アーカイブズ研究系教授安藤正人氏の「記録を守り、記憶を伝える 市民のアーカイブズ（公文書館）をめざして」と題した講演会を開催した。講演会には140人の市民が訪れ、椅子

を追加する余地が無いほどの大盛況であった。開館にあわせ、別の会議室では、善光寺瓦の発掘風景から始まる写真パネルで当市のあゆみを振り返る「開館記念展長野市のあゆみ 古代から現代まで」を11月20日から30日まで開催し、閲覧室では、公文書館収蔵の善光寺町の商家文書などを展示する「古文書展」を開催した。

## 7. おわりに

公文書館が開館して、市誌編さん資料の一括収蔵を果たし、歴史資料として重要な文書を保存していくことになった。公文書館で利用できるよう

に資料の整理を進めてきたが、未だ整理中の資料がある。収集に関しては当市の文書管理システム全体を見直して収集システムを構築する必要がある。開館したばかりの公文書館の認知度はまだ低く、課題は多い。記録を伝える公文書館として、公文書等の収集・整理・保存、閲覧その他の利用、調査研究、普及啓発などの業務を着実に展開して公文書館の認知度を高め、少しでも多くの記録資料を、公文書館設置条例のとおり「市民共通の財産」としてご利用いただき、「後代の市民に継承」していきたい。

## データシート

平成20年2月29日現在

- ・機関名：長野市公文書館（ながのしこうぶんしょかん）
- ・所在地：〒380 0801 長野市箱清水一丁目3番8号（長野市城山分室1階）
- ・電話 / F A X : 026 232 8050 / 026 232 8051
- ・E-mail : shomu\_9@city.nagano.nagano.jp
- ・ホームページ : www.city.nagano.nagano.jp
- ・交通：JR長野駅下車、善光寺口から川中島バス善光寺経由「善光寺北」下車、徒歩5分 / 長電バスSBC経由「城山公園入口」下車、徒歩7分 / 長野電鉄「善光寺下駅」下車、徒歩15分、長野市城山分室1階
- ・開館年月日：平成19年11月20日
- ・設置根拠：長野市公文書館の設置及び管理に関する条例（平成19年6月27日 長野市条例第34号）
- ・開館時間：午前9時から午後5時まで（閲覧申込は午後4時30分まで）
- ・休館日：土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する祝日・年末年始（12月29日～1月3日）
- ・組織：長野市役所 - 総務部 - 庶務課 - 情報管理室 - 長野市公文書館  
部主幹 - 館長（嘱託） - 係長 - 嘱託・臨時職員（8人） 計11人
- ・建物：鉄筋コンクリート造3階建  
（うち公文書館は1階及び中2階の一部 407.63㎡）
- ・収蔵資料の概要  
公文書：市役所文書655点・旧役場文書11,483点  
古文書：4,885点 / 複製資料：21,341点 / 行政刊行物1,073点  
図書：5,049点 / 地図：401点 / 計44,887点



野田 寿一（のだ としいち）：長野市総務部庶務課係長。平成17年4月より庶務課公文書館準備担当として公文書館設立準備に従事。平成19年11月より長野市公文書館勤務。